令和6年度 第2回 静岡県立天竜高等学校春野校舎 学校運営協議会議事録

- 1 **日時** 令和6年10月31日(木) 午後1時30分から3時30分
- 2 **場所** 静岡県立天竜高等学校春野校舎 応接室
- 3 **委員** 松本 常志(学校後援会会長)
北野 昌宏(春野中学校校長)
津村 公博(浜松学院大学教授) ※欠席
佐々木 徹(浜松市春野支所長補佐) ※春野支所長代理
鈴木 利行(前PTA会長)
中田 宗男(同窓会会長)

4 内容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校の様子について(5時限目授業参観)
- (3) 防災に係る対策について
 - ア 防災倉庫等の確認
 - イ 本校防災体制の取組報告
- (4) 令和6年度「総合的な探究の時間」について
- (5) 学校運営に関する意見交換

5 議事録(要点)

(1) 校長あいさつ

御多用の中、令和6年度第2回学校運営協議会に御出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃から本校の教育に多大な御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。春野校舎は、昨年度無事に10周年を迎え、今年度は11年目、新たな次の10年へ向かうステージとなりました。「リバイス天竜」(リバイス:修正する)と名付けた改革プランによって学校改善を進めているところです。これには、職員の意見を吸い上げるボトムアップ型の提案を取り入れています。

また、文科省や県から指示が出ている不登校生徒に対する遠隔授業もスタートしました。登校できない生徒が自宅から遠隔で授業に参加し、履修・修得につなげていくものになります。今後、こうした形態が高校現場では増えていくだろうと予想されます。修得単位の上限があり、これだけで卒業できる訳ではありませんが、約4割程度の単位修得を認めることとなります。長期欠席生徒選抜を行っている本校では、この形態を希望する生徒が増えていく可能性がありますので、今後、完全なシステム構築を目指していきます。これに関して、本校は県内では進んでいる方だと思います。

昨年度来、運休が続く森・袋井方面からの秋葉バスですが、順調にいけば年内に工事が完了し、年明けから運行再開できるという連絡をいただいています。来年度の新入生への影響はないと思います。森・袋井方面の中学校にもお伝えしていきます。

8月に南海トラフ地震臨時情報が初めて発令され、学校も対応に追われました。本校

の危機管理マニュアルでは、「巨大地震注意」と「巨大地震警戒」が同様の対応になっていたもので、きちんと対応できるよう見直しているところです。

進路指導について、就職は売り手市場が続いていることもあり、希望者全員が内定をいただきました。進学については指定校推薦や総合型選抜の指導を始めています。

本校の教育活動の方向性を御理解いただいた上で、本校への忌憚のない御意見を頂戴できればと思っています。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

(2) 学校の様子について

5限の授業（1年から3年）を参観した。

(3) 防災に係る対策について

ア 防災倉庫等の確認

防災倉庫及び立志館（浜松市指定避難所）を視察した。

イ 本校防災体制の取組報告

本校の危機管理マニュアルを参照しながら、本校の防災体制の取組を報告した。

また、南海トラフ地震臨時情報の「巨大地震注意」と「巨大地震警戒」の対応及び浜松市指定避難所開設時の本校の対応についての改定案を確認した。

(4) 令和6年度「総合的な探究の時間」について

昨年度までのオンリーワンハイスクール事業の内容から引き継いだ活動を基にした、今年度からの「春校アワー」（総合的な探究の時間）の取組を報告した。

(5) 学校運営に関する意見交換

- 防災用の備品、備蓄食料、飲料が十分準備されているので、安心感がある。
- 避難施設として、セミナーハウス（立志館）、柔剣道場、体育館が開放されるとのことで、充実した施設を避難者が利用できるのは助かる。
- 学校危機管理マニュアルについて、実態に合わせて随時見直しをされているので、引き続きお願いしたい。
- 有事の避難所運営についての浜松市と本校の申し合わせ事項を反映した学校危機管理マニュアル改定は、来年度に向けて浜松市と連絡を密に丁寧に進めてほしい。
- 春野を含むこの山間地域では、生徒が地域に貢献する様々な活動は本当に有難い。引き続き、充実した活動をお願いしたい。

6 その他

第3回は、令和7年2月7日（金）午後1時30分から開催する予定である。